

北塩原村地域おこし協力隊の活動記録

vol.

# 出会いと想いを つなぐ旅

05  
2024 winter

この村での暮らしが  
3年先もずっと続きますように



# 目次

はじめに…p2

3年先もこの村で…p3

隊員紹介…p4

繋がる活動と情報…p5

広がる協力隊の輪と会津の可能性…p6

村の魅力を届ける…p7

里山の農業が人をつなぐ…p8

フォトライブラー…p9, 10

さいごに…p11

# はじめに

地域おこし協力隊の野崎瞳です。私は2024年2月から北塩原村での暮らしをスタートし、村の皆さんとの温かさに支えられながら、村暮らしがどんどん楽しくなっています。初めて挑戦した野菜栽培でやりがいと楽しさ、苦労を学び、毎日眺める美しい夕焼けや星空にとても癒されています。豊かな自然に囲まれ、優しい人々が暮らすこの村だからこそ味わえるたくさんの魅力が、皆さんにも届きますように。

このかわら版は、私を含めて4人の地域おこし協力隊の活動や、定住に向けた取り組みを、少しでも多くの方に知っていただきたいという思いで作成しました。ぜひ、最後までお読みいただけたら嬉しいです。

2024年11月  
北塩原村地域おこし協力隊  
野崎 瞳

# 3年先もこの村で

## —4人が見つけた新しい暮らしのカタチ



村での暮らしは、都会にいた頃には忘れていた「時間」を思い出させてくれます。高層ビルや見知らぬ人々に囲まれていた都会とは正反対で、ここでは季節の移り変わりを肌で感じ、お互いを名前で呼び合い、支え合いながらゆったりと暮らす人々の温かさを感じます。

この村での暮らしは、3年先も、ずっと続きますように。

### 地域おこし協力隊についてご存じですか？

地域おこし協力隊は、都市部から地方に移住し、地域の新たな担い手として農業や事業継承、情報発信などの「地域協力活動」に取り組みながら、地域への定住を目指すプログラムです。任期は最長で3年間となっており、北塩原村では現在4名の隊員が活動しています。

現在、3名の隊員は北山地区に在住し、1名は裏磐梯地区に住んでいます。それぞれの地域は生活圏や環境、そして雰囲気が異なり、隊員たちはそれぞれの魅力を日々感じながら活動しています。

隊員たちは、この村の美しい自然と、住民の温かい人柄に惹かれ、都市部からの移住を決意しました。新しい環境で、理想の暮らしを実現するために、一生懸命に地域の課題解決に取り組んでいます。

限られた3年間という期間の中で、地域の皆さんと一緒に協力しながら課題解決に貢献し、同時に自分たちの生活基盤を築き、将来的にはここで定住し続けられる生業を見つけることが求められます。

現在、4名の隊員のうち3名は着任からもうすぐ1年を迎え、1名は卒隊を控えています。これからも隊員たちの活動にご注目いただき、応援いただければ幸いです。





きん ゆひやん  
**金 裕香**

ジオパーク推進活動:磐梯山ジオパーク協議会事務局所属

私は来年の3月で地域おこし協力隊卒隊となりますので、今後もここ北塩原村の魅力をボル女として発信しつつ、火山の魅力を伝えられる地元ガイドになりたいと思っています。更には語学力を活かしたインバウンドガイドも積極的に行っていきたいです！



こやぶ たくみ  
**小數 拓実**

就農支援:株式会社あいばせ所属

現在は主に水稻、野菜の生産そして販売に従事しておりますが、いずれは植物や果物など幅広い農業に携わっていきたいと考えています。そして村の農作物の販路拡大にも努めていきたいと思っています。



なかむら ひろし  
**中村 寛**

創業支援/事業承継:北塩原村商工会所属

活動内容は創業・事業承継です。今後は地域の機運醸成に向け、地域への啓発活動として創業・事業承継セミナーの開催を計画しています。



のざき ひとみ  
**野崎 瞳**

ブランド戦略:総務企画課企画室所属

ブランド戦略をミッションに村内の魅力を発信する活動を行っています。カメラ片手に村を巡り、SNSや北塩原村の公式ホームページで、むらびとの暮らしやイベントの様子をお届けしています。



# 繋がる活動と情報

次のステップへつながる  
『出会い』  
『アイディア』  
を生み出す機会に。

ジオパーク、農業、創業支援、情報発信と、それぞれ異なる活動分野の協力隊ですが、毎月1度、定例会を行っています。この会では、4人が顔を合わせ、1か月の活動や最近の悩みについてざっくばらんに話し合う時間を設けています。

この定例会は、先輩隊員の皆さんが始めたもので、現在も受け継がれています。地域おこし協力隊である前に、一人の移住者として活動や普段の生活の中での悩みも抱えています。先輩隊員からのアドバイスや、同じ経験をしたことがあるという励ましが、みんなの絆を深め、村での生活をより豊かなものにしてくれます。

それぞれの取り組みを尊敬し、それぞれの得意分野が繋がることで、新しいアイディアが誕生する、とても有意義な時間です。



【村を知る為、金隊員のガイドで銅沼登山へ】



【あいばせでメロンの定植を教わる野崎隊員】

9月の定例会では、株式会社あいばせ所属の小藪隊員が、今年初めて栽培した「メロン」を持ってきてくださいました。このとても美味しいメロンを、カフェ開業を目指す野崎隊員が、10月初旬に郡山のマルシェ出店で使用させていただきました。

また商工会所属の中村隊員は、カヌーができるキャンプ場開業を目指しており、ジオパーク所属の金隊員からキャンプの講師について紹介があり、初めて「キャンプめし」のワークショップを開催しました。このような取り組みは、この村に定住するための生業作りにもつながっています。

今後は、協力隊と地域の方との交流会を企画し、私たちの活動をより地域に根差したものにしたいと考えています。

# 会津の可能性

## 広がる協力隊の輪



「北塩原村」「猪苗代町」「磐梯町」

3つの地域のコミュニケーションを円滑にし、連携を強化しながらより良いエリアの活性化を目指した活動を行っています。

令和4年の秋、猪苗代町で「第1回磐梯高原地域おこし協力隊意見交換会」が開催されました。

第12回目磐梯高原地域おこし協力隊意見交換会では、猪苗代町が企画した磐梯山ゴミ拾い登山が実施されました。3町村にまたがる磐梯山自然に感謝しながら登山をし、各町村との交流を深めることができました。

参加した3名の隊員から感想が寄せられました。

(中村隊員) 3町村にまたがる磐梯山の自然の恩恵を感じながら各町村の取組みや役割、地域住民との関りなどの意見交換ができ、とても有意義な時間でした。

(金隊員) 普段交流できなかった隊員とも交流ができ、一緒に汗を流しながら目指した磐梯山頂からの景色は、一際眩しく感じました。今後も3町村の地域おこし協力隊員と交流を深めていきたいです。

(小藪隊員) 初めての磐梯山登山でしたがゴミも少なく、きれいな山でした。機会があれば違うルートでまた登ってみたいです。



# 村の魅力を届ける



所属自治体の枠を越え、福島県全域へ活動PRを行い、自身の活動の充実化およびモチベーションアップに繋げる事を目的に開催されているイベントです。

10月30日、会津美里町で「地域の担い手文化彩」が開催され、北塩原村地域おこし協力隊がブースを出展しました。ブースでは、就農支援に携わる小藪隊員が所属する「株式会社あいばせ」の新米やユーカリ、トマトやメロンのジャム、山ぶどうジュース・ジャムなど、地元の特産品を販売しました。



また、観光パンフレットや野崎隊員が作成した動画を用いて北塩原村の魅力や暮らしを紹介。お話をした方々は、ぜひ遊びに訪れたいと嬉しいお言葉をくださいました。

さらに、他地域のブースも見学し、交流を深めました。どの地域も素晴らしい取り組みがたくさんで、それぞれの地域への想いと魅力を感じられました。ここで得たアイデアを活かし、北塩原村をさらに盛り上げていきたいと思います。

故郷とつながる暮らし  
始めてみませんか？  
北塩原村ふるさとづくり寄附金



# 里山の農業が人をつなぐ

連日の猛暑に耐え、日照りにも耐え、大雨にも耐え、元気な稲穂になりました

小藪隊員が所属する株式会社あいばせでは、「棚田オーナー制度」を実施しています。この制度は、棚田を通じて田舎と都市、さらに世代を超えた人々が繋がるコミュニティの場を創出し、持続可能な地域づくりを目指す取り組みです。今年度で3年目を迎えました。

棚田オーナーは、年4回の農作業体験を通じて棚田を守りながら、お米を育てています。今年の5月には田植えを行い、約5か月が経った今、稲穂は垂れるほど立派に育ちました。先日は、あいばせの皆さんや村のお父さん方と一緒に、泥んこになりながら一束一束、丁寧に稻刈りを行いました。



令和6年度最後のイベントでは、昔ながらの機械を使って脱穀に挑戦し、新米の餅つき大会も！里山の恵みに感謝しながら、自分たちでついたお餅や、羽釜で炊いたごはんをお腹いっぱい食べて、1年を振り返りました。この農作業体験イベントは、どなたでもご参加いただけますので、ぜひお気軽にお問い合わせください。

令和7年度の棚田オーナーに関するお問い合わせもお待ちしております。

【株式会社あいばせ】

〒966-0402 福島県耶麻郡北塩原村大字大塩字上六郎屋敷2160

TEL: 0241-23-6078

MAIL: info@kitashiobara-aibase.jp

HP:右のQRコードからどうぞ



# photolibrary

【北塩原村で出会った素敵な瞬間】

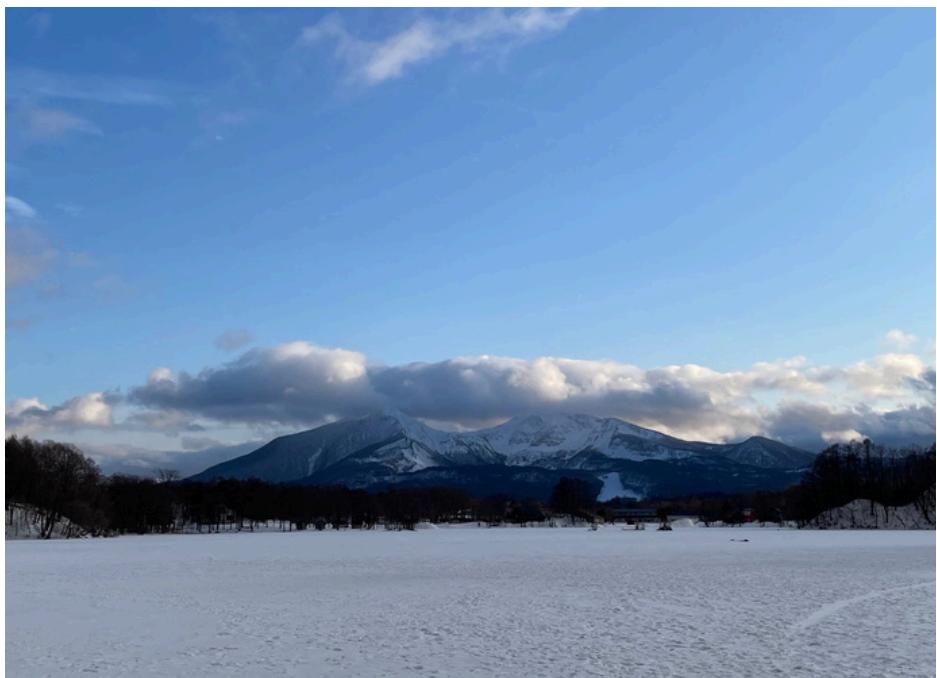




# さいごに

この度は、かわら版を最後までお読みいただき、誠にありがとうございます。地域おこし協力隊の活動に少しでも理解を深めていただき、興味を持っていただけたなら嬉しく思います。私たちは、地域の活性化に向けて日々努力を重ねていますが、皆さまからの応援や関心が大きな励みになります。今後とも温かいご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

これからも地域の皆さんと共に歩んでまいりますので、引き続き応援をお願い致します。



# お問い合わせ



協力隊HP



協力隊Instagram

〒966-0485

福島県耶麻郡北塙原村大字北山字姥ヶ作3151  
北塙原村役場 総務企画課 企画室  
0241-23-3112  
nozaki\_hitomi\_01@vill.kitashiobara.fukushima.jp  
ご意見やご感想、取材依頼などお待ちしています。